



多彩なピアノの音色が響きわたる 8/28

演奏会「みんなでピアノ物語」が、夢ホールで開催されました。演奏会を通して交流の輪を広げてもらおうと開催し、総勢141人126組が出演。子どものかわいい演奏や大人の迫力ある多彩な音色が会場に響きました。また、ホワイエにて「手工芸品チャリティーマーケット」が開催され、多くの人でにぎわいました。(NPO 法人夢ホール市民協議会夢つくりあなん)



地域住民の交流が生まれる「おっぱしょ地蔵さん」 8/16

「おっぱしょ地蔵さんのお祭り」が、柳島町南別当で開催されました。このお地蔵さんは、昔、タヌキが「おっぱしょ (=背負ってくれ)」と言って村人を化かし、懲らしめられるものの、かわいそうに思った村人が地蔵として祭ったという民話で長年親しまれています。祭りでは、近隣の子どもたちによる民話の紙芝居や合唱などが行われ、地域住民が交流しました。

8/29 さまざまな働き方で、仕事と生活の調和をめざす

就労機会の創出と女性の活躍推進に向けて、「テレワークによるプロライター育成講座」の説明会が開催され、約50人の方が参加していました。本講座の特色は、受講された方に対して仕事の発注を通じ指導が行われることです。参加者は、「育児などで、場所や時間にとられない働き方に注目しています」と話していました。



8/21 恐怖のあまり恋が始まるかも 婚活イベントが開催される

「本当にあった…おとろし物語」と題した婚活イベントが平等寺本堂で開催され、20人が参加しました。怪談師の話の聞いたり、参加者で不思議体験を話し合ったりする恐怖の中で、男女の距離を縮めてもらおうと、阿南de愛隊、市社協結婚支援連絡協議会が主催。参加者は、時間がたつにつれて打ち解けたようすで話をしていました。さて、恐怖の中で恋は始まったのでしょうか。



情熱と汗がほとばしる「佐田神社例大祭」が行われる 9/10

男たちが威勢のいい掛け声をあげながら、みこしを担いで椿泊のまちを西へ東へと練り歩く「佐田神社例大祭」が9月10日から3日間行われました。最長29日間も行われたことがあるというこの祭りは、「だらだら祭り」とも呼ばれ、みこしを海に入れて海上安全と豊漁を願う漁師まちの祭りです。また、水中花火が打ち上げられ、祭りに華を添えていました。



那賀川・桑野川大規模氾濫の減災対策を決定 8/23

国土交通省那賀川河川事務所が、「那賀川・桑野川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を市役所で開催し、流域市町・県など30人が出席しました。協議会は、浸水被害に備えて、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とし設立。平成32年度までに「逃げ遅れゼロ」や「社会経済被害の最小化」をめざした減災対策を決定しました。

9/11 感動をありがとう パラリンピック有吉さん健闘!

パラリンピック・リオデジャネイロ大会のボート競技ローイング・ダブルスカルに羽ノ浦町出身の有吉利枝さん(37歳)が出場し、12位となりました。有吉さんは、ペアを組む駒崎 茂さん(53歳)とともに、日本代表として懸命にオールを漕ぎました。また、有吉さんを応援する懸垂幕が、市役所や母校富岡東高校に掲げられるなど地元からも声援を送りました。



8/28 「那賀川夏まつり」 多様な催しでにぎわう

恒例の「第33回那賀川夏まつり」が、6年ぶりに那賀川中学校グラウンドで開催されました。同校が改築工事で使用できないことから、昨年まで陸上自衛隊徳島駐屯地などで行われていました。祭りは、陸上自衛隊第14音楽隊による圧巻の演奏で幕を開け、ラムネ早飲み大会やペダルが無い二輪車「ストライダー」の試乗体験会、花火大会など多様な催しでにぎわいました。

